

令和3年度 第1回鹿嶋市総合教育会議 議事録

委員：大綱なので、これまでのモノを大幅に変えるものではないと思っている。時代に合わせていく方向性でいいと思う。草稿を創る担当は大変だったと思う。

伝統文化芸術について、鹿嶋のことを知らない人が多いというのが実態。

「学びを通して郷土の理解,誇りを育みます」というのは飛躍があるのではないか？

「郷土への理解を深めます」程度がいいのではないのか？

いきなり「誇り」というのは無理があるのではないかと考える。

市長：親が鹿嶋の歴史を知らないと、家庭で子供に話ができない。平和教育は身近なところでもできるのに、「桜花」の歴史など鹿嶋の人は知らない。一度失われたものは、取り戻せなくなる。これは、教育で教えていくしか方法はないと思っている。まずは、知ってもらうことが大事。その後に、郷育に繋がっていくと考えている。

委員：「未来」の追記はとても素晴らしいと考えている。

予測がつかない時代になって生きている中、未来に焦点を当てたことに賛同する。

日本の経済的地位、国力の低下、子供たち大変な時代を迎えることになる。

子供たちは想像もつかない時代を生きていかなければならないという中で、鹿嶋市の教育大綱に未来が入ったことは大変素晴らしい。

新たな基本理念「地域と未来を創る 鹿嶋っ子」というのはシンプルでわかり易く受け入れやすい。 共育、郷育も語呂もよく好感を持った。新しい変更点については、これでいいと考えている。

案1と案2の提示、どちらがベターか？基本方針は4つに絞り込むということ？旧新の違いなど分かりにくい部分がある。再度説明を。

事務局：新しい言葉を入れるので、再整理をしたほうがいいのか、現行の基本方針の中で再編集したほうがいいのかの違い。

教育長：基本理念と、基本方針を一度に議論するのは難しい。まずは基本理念を整理すべき。

委員：未来に視点を置くと、今の時代に要求されるものをまとめた案1が最適だと考える。これからの子供たちは AI にとって変わられないようにしていく必要がある。読解力や SDGSなどを盛り込んでいるのも好感。シンプルでわかり易くまとまったものがあると考える。

委員：教育振興基本計画を改定したばかりというところが悩ましい。大綱の改訂で盛り込まれた内容についてはいいと思う。

鹿嶋の強みはあまり表立って表現されていなかった部分。鹿嶋には他にはない強みがあることを再認識した。

P5 家庭・教師・学校と「教師」を掲げることはあまりなかった。教師にもっと意識付けしていきたいということを明確にしたものなのか？

パターン2のP3 伝統文化芸術の振興のところでは、施設の整備について追記されている。整備が進められている中では「活用」をもっと表に出していくべきだと考える。青の印刷、旧新、より明確な表現になっていていいと考える。

事務局：P5の意識せずに表記した部分があるので見直しする。P3は整備と活用にする

委員：P6の実施期間については、5年でいくと、次回の改定時には、振興計画のスタートと1年ズレがある。このズレをどう調整するのか？先を見据えた見直しの時期はどうするのか？

共育、事業者がはいったことで地域が広がった感がある。事業者＝会社のイメージとして捉えているが、P17でも事業者を定義しているが、最初の段階で定義を示して「事業者」を一般にもわかり易いように表記すべき。

委員：案1と2の比較は、同じ形式で出したもらったほうがいい。

スケジュール案を見ても、あまり期間がないので大きく変えるのは大変なのではないかと思う。新しいワード、世の中が大きく変わるので「未来」が入るのはいいと思うが、現行の「地域が育て 地域で育ち 地域を創る 鹿嶋っ子」というもの好きな言葉。

共育・郷育をいれて案2にすると足りないのではないかという印象。もう少し足していくべきではないかと思う。

案1、7項目を4項目にすると関連性が分かりにくい。わかり易くすること自体難しいのではないか。

委員：案1か2か。どちらかに決まった後に、言葉を直すのか？

事務局：期間については、今回の大綱を4年にするというのも可能。5年の運用が一般的というだけ。事業者の定義、最初に出すように見直す。

案1は並び替えし、再度提案、案2はこれに追記していくことになる。スケジュールに関しては、コロナで延期してきて後が詰まってきている。資料を出した後に意見をもらって修正するという形で進めていきたい。

市長：総合計画が大本になる。次が教育大綱、その次が振興計画。同じ考え方に沿っていることが本筋。足りない部分があれば、振興計画に盛り込んでやり繰りして

いけばいいのではないか。

私としては、勉強だけではない部分を伸ばしていく教育が大事だと考えている。

委員：全面的に改正というのは、これまでの連動を考えると大幅に変えるものではないと思う。文言は美しいが現実を考えると、疑問がある。いかにして啓蒙するか浸透させていくかが大事。理解させ、感じさせることが大事。先生に鹿嶋のことを知ってもらい、子供たちに伝えてもらえれば、理念が生かされることになる。

市長：もっと鹿嶋に誇りをもって自信を持つべき。みんなが誇りを持てるようにしていきたいと考えている。夢を持って頑張る子供たちに出てきてもらいたい。それには教育が大事。鹿嶋の強みをこれまで強調してこなかった。

委員：鹿嶋の強み。歴史・ANT，アクセス，自然，いろいろ揃っている。この強みを教育現場で子供たちにわかり易く伝えていく必要があると考える。そういく機会を作って浸透させていくべき。

P12の市の教育目標と基本方針2の健康安全～は、基本方針のどれにもリンクしない。必ずしもリンクしなくていいのか？

事務局：健康と安全の確保に努め… 包括した内容と認識している。
多様性というキーワードは是非とも盛り込みたいため、こういう表現になっている。「つとめ」の表記に訂正が必要。

教育長：基本理念の「地域と未来を創る」とはどう意味なのか？分かりにくい

事務局：地域を創り未来を創るという意味。地域と共にという意味でもOK。
地域も未来も創るというニュアンスを表現している。

副市長：次の大綱で成長を見せるためには、ステップアップを表現したい。
振興計画が先なので、尊重すべき。大綱を整備していくということは、P13の7つの項目、大綱の4つの項目を文章で調整していけばいいのではないかと思う。
事務局でもう少し大局的な視点で整理していく。

教育長：基本理念からスタートしていくべき。やはり振興計画との整合性を図ってもらいたい。

事務局：11月に再度開催する。それまでに、ご意見をいただき、再整理する。